

じむきよくす たっふ
事務局 スタッフ

それぞれの

はんず わたし
HANDS と私



よこやまてるひさ
横山晃久

は はんず せたがやけあずせたがや りじちよう
HANDS 世田谷ケアズ世田谷 理事長



は はんず つく ととき だい なか せつ
HANDS を作った時30代の半ばで、私の住んでいるところが
だいた だったので、事務局のある中町まで歩いて 1時間半かけて週
いつか、よく 通いました。夏は暑くて私の車椅子を押している
かいじよしゃ だうん きゅうきゆうしゃ びょういん はこ せつ じむしよ
介助者がダウンして救急車で病院まで運ばれて私だけ事務所に

い 行ったこともよくありました。私が全国に講演会に出かけ長崎から一人群馬から一人、
せたがや ひ ば
世田谷に引っ張ってきました。

いまわし なや じりつしえん ほうご しょうがいしゃ ちいきせいかつ わし ころ
今私の悩みは自立支援法後の障害者の地域生活なのです。私たちの頃のこだわりとかや
り方は今では通用しないことです。地元を見れば、親はあの時と比べて理解はあると思
かた いま つうよう じもと み おや ととき くら りかい おも
ますが、本人のやる気が無いように見えてきています。周りに対しての依存度が多くなっ
て本人が何をしたいのか、どういう生活にしていきたいのか、時間をかけてもはっきり見
えてこないのがこの頃の現状なのです。私は、今までに26人の障害者の仲間を施設から出
してきました。そして25人の仲間を在宅から一人暮らしをサポートしてきました。

これからも時間をかけてあせらずにサポートをしていきたいと思っていますので、よろ
しくお願ひします。





うえだもとむ
上田 夔

は ん ず せ た が や す た っ ぷ お ー び
HANDS 世田谷スタッフOB



「HANDS 世田谷20周年おめでとうございます」

いつの間にか20年というか、もう20年経ったかと振り返る今日この頃です。

私が関わらせてもらったのは、創立当初からでした。

創立メンバーの事は、本当によく知っている仲間達でした。

9年前に亡くなった、初代理事長の山口成子さんから直々に、「一緒に作っていきたい」と言葉をもらって、利用者会の責任者をやらせてもらったり、HANDSの理事から今はケアズ世田谷の理事を務めさせてもらっています。

世田谷に来て早や今年で32年になりますが、色んな活動を通して、私の人生そのものを換えさせられました。

それは決して悪い意味で言っているのではなく、いくら重度の障害があっても、自分の人生は自分で切り開くという、人間として当たり前な事を、実感を通して学ばせてもらいました。

世田谷という地域は、30数年前から24時間介護者を入れた生活を始めた方達がいるのを目の前にして、当時療護施設に入るしかないと思っていた私自身の衝撃は、あまりにも大きいものでした。

その後見よう見まねで、同じような生活を始めて、HANDS 世田谷を運営していく中でも、私と同じような経験をしてほしいという気持ちを込めてきたつもりでした。

これからも、私が生きていく限りは、この世田谷の生き方を続けていくでしょう。

みづが す しゃかい みづが つく 作ってこそがみづがのちいき
自らが 住む社会を自らが 作ってこそが自らの地域



まつざわひとし
松沢 等

は ん ず せ た が や ケアズ世田谷
HANDS 世田谷・ケアズ世田谷

だんせいこーでいねーたー
男性コーディネーター



は ん ず せ た が や で あ かんしゃ かんしゃ かんしゃ
HANDS 世田谷に出会えたことに、感謝、感謝、感謝。



みうらかつし
三浦克敏

は ん ず せ た が や け あ ず せ た が や
HANDS 世田谷・ケアズ世田谷
けいりたんとう
経 理 担 当



「HANDS 世田谷と私」

わたしとHANDS 世田谷との関係は今年で19年になります。今年38

歳なので、ちょうど私の生きてきた半分です。介助会員から始まり、
上田要さんたちの個人介助に移ったときは一時関係が薄くなりました

ですが、故山口成子さんの専従介助を経て、会計担当の事務局員となり、そこから13年が
たちました。私的には結婚して親になるなどのイベントもありました。親元で暮らした年月
よりも長い時間をHANDS 世田谷と過ごしてきたのですが、HANDS 世田谷との関係
について、いまだになんといいのかわかりません。ただ素直に、よくここまで続い
ていると思うのと同時に、いろいろな方のおかげで今の自分があることを深く感謝してい
ます。

平成3年の夏、介助会員に応募した私は下北沢駅の階段をおりたところで、
コーディネーターだった現代表の横山さんと会いました。それまで障害を持つ方と接したこ
とはなく、面と向かって話をした最初の方が横山さんでした。汗の浮いた浅黒い肌、そり上
げた頭にモヒカン、どっしりしたからだをきわだたせるランニングシャツ姿。そのときの
ことは詳しく覚えていませんが、脳性まひの方にはじめて会った驚きよりも、生命力のか
たまりのような姿に圧倒されました。それが始まりでした。

それからいろいろな方にお世話になりました。山口さんのふんわりとした笑顔、横山さん
のこってりとした笑顔、太田奈津子さんのお茶目な笑顔、宮前武夫さんのやさしい笑顔、
今井志朗さんのひょうきんな笑顔、これらがたまちゃんという愛称をいただいたころの私
にとってのHANDS 世田谷です。懐かしいですね。



すずきのりお
鈴木範夫

は ん ず せ た が や じ ゅ む ぎ ゅ 員
HANDS 世田谷事務局員

こころ ぼ え まー ペ にー すずき そく しゃがい まど
孤高のボエマー ペニー 鈴木の「続・社会の窓」



は ん ず、 は ん ず、 ああ は ん ず
ハズ、ハズ、ああハズ

よくも続いた20年 生まれた赤子も もう お・と・な

は ん ず、 は ん ず、 ああ は ん ず
ハズ、ハズ、ああハズ

せいどいろいろか かわって来たが、かわらないのは運動重視

はんず、はんず、ああはんず

おれらの生活^{せいかつ}どうすんの？ たたかい^{つづ}続けているのです。

はんず、はんず、ああはんず

おいらも色々^{いろいろ}変わってきたが、変わらないのはエロエロ度^か

はんず、はんず、ああはんず

おいらの個性^{こせい}どうすんの？ いいです いいです いいんです。そのまま まんまで
いいんです 確認^{かくにん}できたよ ああはんず

はんず、はんず、ああはんず

よくも続いた20年^{ねん} 生きる保障^{ほしょう}が出来るまで 笑顔^{えがお}で解散^{かいさん}出来るまで たたかいつづくよ
ああはんず...

びーえす
p.sでも、やっぱり詩^しは嫌い^{きら}です...



なかのしんや
中野伸哉

はんず せたがや けあず せたがや
HANDS 世田谷・ケアズ世田谷
男性^{だんせい}コーディネーター



だいがくせい とき わいえむしーえー ちてきしょうがい かた ぼらんていあ
大学生の時に Y M C A で知的障害の方のボランティアをしている
とき はんず せたがや た あげ めんばー の こ やまぐちしげこ
時に HANDS 世田谷立ち上げメンバーの故・山口成子さんの
こじんかいじょしゃ し あ はんず しょうかい いただ
個人介助者と知り合い、HANDS を紹介して頂きました。
それから はんず しゅうねん はんぶん ねん とも すごす こと でき
ました。 20周年の半分の10年を共に過ごす事が出来ました。

ひとみし さいしよ はな こと でき ことわ いんしょう も かた
人見知りで、最初はなかなか話す事が出来ず「怖い・・・」という印象を持たれている方
もいたそうですが(中・高男子校の寮生活^{ちゆう こうだんしこう りょうせいかつ}だった事が影響^{こと えいきょう}してるかもしれませんが・・・(笑))
そんな中^{なか}で出会い^{であ}や別れ^{わか}を繰り返^くしながら、多く^{おほ}の利用^{りよう}会員^{かいいん}・介助^{かいじょ}会員の^{かいいん}皆様^{みなさま}に出会^{であ}えた事^{こと}
は人と関^{ひと}わる仕事^{かか}をしたいと思^{おも}っていた私^{わたし}にとって、とても大きな財産^{おほ ざいさん}になっています。

げんざい わたし にゅうしゃ こる くら しゃかいてき ふくし すぼつと こと おお
現在は私が入社^{にゅうしゃ}した頃に比べ、社会的にも福祉にスポットがあたる事も多くなってきました。
これはこれまでの障害者運動^{しょうがいしゃうんどう}の成果でもありますが、一方で何か問題^{もんたい}が起きてから取
り上げられるケースも多いように感じます。後悔^{こうかい}の「たら・れば」は言うべきではないと思^{おも}

いますが、こと命に関わる福祉に関しては「たら・れば」をまず頭にいれて行動していくべきなのではないのかなと日々思っています。

生活保障や介護保障等の様々な社会的保障は誰にでも共通することですので、今後とも社会への働きかけを自立生活センターに関わる一人として行なっていきたいと思います。



なくもきみえ
南雲君江

は ん ず せ た が や じ む き ぐ い ん
HANDS 世田谷事務局員



「HANDS 世田谷と私」

は ん ず せ た が や そ う り つ し ゅ う ね ん
HANDS 世田谷創立20周年おめでとうございます。

私は、2004年からHANDS 世田谷で、活動しています。あれからもう6年が過ぎようとしていますが、いつもここにきてから何年経つたろうかと、年数が分からなくなってしまう。ずいぶん長

いような気もするし、あつという間の月日です。

振り返って考えると、HANDS 世田谷ができるまえから理事長の横山さんとは、私が光明養護学校の小学部の1・2年の頃からの、切れそうで切れない不思議な縁でつながっていました。

HANDS 世田谷ができて、私がちょうど結婚した1995年に1年間だけ、研修生として、町田から代田にあった事務所まで週に1・2回、通っていました。その時は、まだ一人で外出して、帰宅してから夕食の準備や後片付けなどやっていたことを懐かしく思い出します。今は、日常的に介助を必要とし、あの頃は自分でもよくやっていたなと思えるほど、遠い出来事のように思います。

私は、光明養護学校の卒業後、重度の授産施設で12年間過ごし、その後一人暮らしを経て、結婚しました。自立生活センターでの活動には、以前から関心がありましたが、かなり遠回りをしてHANDS 世田谷に辿りつきました。

HANDS 世田谷へ通い始めのころは、自分が何をしたらいいのかわからなかったり、介助者との距離のもち方に迷ったり、ずいぶん辛かった時もありました。

HANDS の活動の中で自分のやりたいことを見つけるまで、始めは今まで自分が関わってきた、他の自立生活センターとの違いに悩み躊躇しました。

しかし、自分がやりたいことをやって良いというHANDS のやり方に、とても魅力を感じ、そのことが私にとっては、大きな心の支えになっています。

HANDS 世田谷の中で障害女性としての、活動を続けていくこと、たくさんの人たちとつながっていくことが、今の私にできることだと信じてします。



やまがたしげと
山形重人
は ん ず せ た が や じ む き ょ う い ん
HANDS 世田谷事務局員



しょうがく ねんせい さい
小学2年生・8歳の時のことでした。わたし しょぞく
私が所属していた、おおさかふ さかい
大阪府・堺市立向丘小学校は、創立20周年を迎えたのです。校章の、桜の花の形
しりつむこうがかしょうがっこう そうりつ しゅうねん むか
に運動場に児童が並んで、航空写真を撮ったものが記念の下敷き
うんどうじょう じどう なら こうくうしゃしん と きねん したじ
になり、学校の歴史が年表と写真で著された分厚い“記念誌”ももら
がっこう れきし ねんびょう しゃしん ぶん
いきました。自分自身が「8歳」でしたので、そうりつ しゅうねん
創立20周年ということが、

とにかく『すごいことやな!』と思い、思わされたことをよく覚えています。兄も通っていたし、どこにあるかも入学前から知っていました。いつの時代も小学校は、当たり前にある存在ですよね。

は ん ず せ た が や そうりつ しゅうねん じんせい
HANDS 世田谷も、創立20周年。人生でいちど、20周年を経験している私の視点で言う
と、これは『すごいこと』に“もっと”がつく大きなこと。当たり前がない存在が、たか
さん ひと たちの “は ん ず ” が 途絶えることなくつづき 新たな価値観を生み出しているの
だから。いま じりつせい かつ せん た - きじゅん しょうけん
今でこそ、自立生活センターには基準要件がありますが、それは、ゼロからまさ
に「手探り」で生み出されたHANDS 世田谷の活動があつてこそ。

は ん ず かつどう しゅ し さんどう
HANDSの活動趣旨にご賛同くださる賛助会員・利用会員・介助会員の皆さんの手、
かつどう じんりょく
活動にご尽力されながらも、お亡くなりになられた方々の手、HANDSの活動を経験し
て、新たなライフワークを見つけた人たちの手、一生の出会いを手に入れた人たちの手...
その中に、自分の、障害のある右手と障害のない左手も入っている。20年間、かざされ続け
てきたたくさんの手から伝わる思いをしっかりと受けとめ、進んでいこうと思ひます。

むこうがかしょうがっこう ねん くみ と き しゃかい じゅぎょう
向丘小学校の2年1組にいた時、社会の授業で「はたらくおじさん」という番組を見ました。
テレビにはおだきゅうせん と むこうがかしょうがっこう えんえき
テレビには小田急線と「向ヶ丘遊園駅」の様子が映り、みんなで叫んで笑ったものです。
てつどう ひと かつ こい い おも こども おとな じぶん き かつどう しごと
鉄道ではたらく人はカッコイイと思っていた子供も大人になり、自分で決めた活動・仕事を
いちにち お じゅうじつ かん いっしょ むこうがかしょうがっこう せんしゃ お じぶん かつどう ぶ しぎ
一日終えた充実感と一緒に、向ヶ丘遊園ゆきの電車を降りている自分がちょっとフシギ。
じんせい
人生、わからないもんですね。



もり え よ う こ
森江葉子
は ん ず せ た が や じ む き ょ う い ん
HANDS 世田谷事務局員



「は ん ず わたし
HANDSと私。」
は ん ず せ た が や は た ち
HANDS 世田谷も二十歳ですか～。
わたし は ん ず かつ かに にじゅうまえ
私がHANDSと関わったのもなんと、二十前ぐらいかな(^ ^)
その頃、私は通所施設に通うピチピチの女性でした(^-^)b